

平成27年1月

航空管制官の研修体制の見直しについて

近年、航空交通量は堅調に増大しており、今後も我が国や近隣諸国の経済成長に伴う航空需要の高まりや平成32年の東京オリンピック・パラリンピック等によって、更なる航空需要の拡大が想定されています。このような旺盛な航空需要に対応し航空輸送の安全・安心を確保するため、航空保安大学校における航空管制官基礎研修の期間短縮及び採用回数の増加によって、効率的な航空管制官の育成を進めることとします。

1 航空管制官基礎研修の期間短縮

航空管制官として必要となる基礎的な知識と技能の習得のため、現在、航空管制官新規採用者に対し、航空保安大学校において12ヶ月間の航空管制官基礎研修を実施しておりますが、訓練機材の増設及びカリキュラムの見直しにより、平成28年12月以降に開始される基礎研修の期間を8ヶ月間に短縮することとします。

2 採用回数の増加

現在、航空管制官採用試験合格者は4月と10月の年2回に分けて採用していますが、基礎研修期間の短縮にあわせ、平成29年度以降は4月、8月及び12月の年3回に分けて採用することとします。

【今後のスケジュール】

採用試験実施年度	採用予定年月	研修期間
平成27年度	平成28年4月	12ヶ月間
	平成28年12月	8ヶ月間
平成28年度	平成29年4月	〃
	平成29年8月	〃
	平成29年12月	〃

注：平成30年度以降の採用予定時期と研修期間は平成29年度と同じ

【問い合わせ先】

国土交通省航空局交通管制部交通管制企画課 03-5253-8111 (内)51111
国土交通省航空保安大学校教務課 072-458-3917